

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 アットスマイリー北大路
------	----------------------------------

公表日 令和8年2月1日(回答期間:令和7年12月5日~12月20日)

回答数 職員数:13人、回答数:10件、回答率:77%

		チェック項目	どちらとも いいえ			意見	改善目標・工夫している点など
			はい	どちらとも いいえ	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	1	体調不良や情緒が乱れた時に、対応できるスペースがない。/致し方ないが、中高生が多い曜日は手狭に感じる。	活動内容、人数の分散などを引き続き検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	6	0	1対1での支援を必要としている児童が多いのに対して、職員の数が足りていないと感じることが多々ある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	0		お子様の特性に合った過ごしやすい環境づくりが出来るように改善に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	0	豪雨のあとには雨漏りなどがある。/ゆっくり寝ている子どもや活発に活動する子どもが入り混じっている時がある	毎日、お子様が帰られた後に職員が清掃を行っております。引き続き、清潔で安心して過ごせる環境作りに努めてまいります。レイアウトを変更し広く使えるようにするなど、より活動に相応しい環境作りができるよう検討します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	0		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	4	0	モニタリング前後に、広くスタッフの意見を聞いてくださっている。	毎日業務ミーティングを行い、業務改善に取り組んでおります。今後はすべての職員が参画したと思えるようなもの出来るよう努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	0	申し送りは丁寧だと思います。	毎日の申し送り時にお子様のご様子についての意見集約と支援の統一に今後も努めて参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	0		第三者による評価は現在行っておりません。より一層質の高い事業所にしていくためにも、今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0		月に一回程度、全事業所合同でのミーティング・研修を行い、「特性理解」「虐待防止」「防災」「感染症」「事故防止」「救急対応」等について全職員で学ぶ機会を設けています。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	0		支援プログラムは、HPIにより公表しております。また、月間プログラムでは5領域を網羅した内容を行っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	2	0		毎日の打ち合わせ時の申し送り含め、定期的に職員から聞き取りを行い、支援計画の作成を行っております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	3	0		上記同様に定期的に職員から聞き取りを行い、支援計画の作成を行っております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	0		5領域アセスメントとS-M社会生活能力検査によるアセスメントは全員に実施しており、必要に応じて日々の行動記録をとるなど、より正しく理解して支援に繋げられるように努めております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	0		全項目を網羅した個別支援計画を作成し、保護者の方の同意を得た上で交付しております。今後もライフステージやご本人・保護者様のご意向にあわせて、支援内容を見直してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3	0		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	3	0		学習・活動の時間が主ではありますが、その中でも様々な内容に取り組んでいただけるよう、努めて参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	1		送迎の帰着時間が異なるため、全員での振り返りは難しいですが、個別での引継ぎや書面で翌日以降へ引継ぎを行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	0		
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	0		6か月に1度のタイミングで保護者様と定期的にモニタリングを実施させていただいております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	5	0	できてはいると思うが、このような体制が必要な児童は他にもたくさんいると思うので、引き続き手厚い支援体制を整えるようにしていく必要がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	0		
	27	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	6	1		自立支援協議に参加し、個々の課題を地域課題をしてあげることで、地域全体の福祉の向上に繋がると考えています。また、京都市等が主催する研修に参加した際は、事業所間の横の繋がりを強化できるよう、関係づくりに努めています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6	1		必要に応じて児童発達支援センターから支援事業として助言等をいただいております。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	5		区役所で開催される地域住民向けの催しへの参加や、近隣の神社・公園への外出など、地域の方々と交流する機会を設けております。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	5		近年は保護者会の実施ができていませんが、保護者様のニーズに応じて、交流できる場の開催を今後検討できればと思います
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	0		契約の際に保護者様へ説明をさせていただいております。
	33	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0		ご契約時やモニタリング等を通してご本人やご家族の意向を確認し、計画作成に反映させていただいております。
34	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	1		モニタリング時に支援の方向性の確認をさせていただき、書式への署名によって同意を得ております。	

保護者への説明等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	7		近年は保護者会の実施ができていませんが、保護者様のニーズに応じて、交流できる場の開催を今後検討できればと思います
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0		毎日、保護者様向けの活動記録（HUG内）をアップし、プログラム表とお便り「すまいる便」を毎月配布しております。また、事業所ごとにInstagramを運用し、開かれたクリーンな事業所を目指しています。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	0		連絡帳や書類に関しては、配布前にダブルチェックを行うなど、チェック体制を強化しております。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	6		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	0		保護者様へは契約時にご説明しています。職員へは入社時研修で伝えるとともに、事務所内にマニュアルを設置し、いつでも見られるようにしております。また、定期的に事業所単位でシミュレーション訓練を行っております。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	0		規程回数以上の訓練を実施しており、様々な状況を想定して訓練が形骸化されないように工夫しながらの実施に努めております。年に一回、全事業所の職員を対象に防災に関する研修を行っております。
44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	0		契約時にお子様の状況を聞き取りし、注意する点や対応などについて相談、共有をさせていただいております。	
45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	0			
非常時等の対応	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	0		法人で「安全計画」の制定をさせていただいており、毎年9月ごろに更新した計画を保護者の皆様に配布させていただいております。また、計画に合わせて適宜研修や訓練も行っております。
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	0		毎年9月ごろに安全計画を配布して周知させていただいており、災害時は「引き渡しカード」を使用して保護者様へ引き渡しをさせていただき、体制整備、契約時に説明をしております。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	0		事業所ごとにヒヤリハット報告書を作成し、随時共有しています。一年に一度程度、法人全体での事例共有と対策の検討も行い、事故防止に努めております。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	0		事業所単位での虐待防止対策委員会・研修と法人単位での虐待防止委員会・研修を毎月実施しており、職員が閲覧できる書類も作成しています。虐待防止に関する研修も毎年定期的の実施し、虐待の防止と啓発を行っております。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	0		契約時に「身体拘束に関する同意書」にご署名をいただき、特に配慮が必要なお子さまに関しては保護者様に同意を得た上で支援計画に記載しております。